

# 茎数多く栄養凋落の危険 「穂肥」を適切に施用しましょう！

ほ場毎の葉色差が大きく、濃いほ場や、急激に淡くなっているほ場があります。  
葉色の低下が著しいほ場では、すみやかに穂肥を施用してください。

## 1 7月20日現在のコシヒカリの生育状況(拠点ほ場9地点の平均、移植日の平均:5月6日)

●コシヒカリの出穂期は、平年並みと予想されます。

区分	本年値	目標値(7月20日) (カシダ-生育目標値比・差)	前年値 (前年比・差)	
草丈(cm)	78	75 (104%)	72 (108%)	
茎数(本/m <sup>2</sup> )	481	430 (112%)	520 (93%)	
葉数(葉)	11.9	12.0 (-0.1)	11.6 (+0.3)	
葉色	SPAD値	33.5	33.0 (+0.5)	35.5 (-2.0)
	葉色板	3.5	3.6 (-0.1)	3.8 (-0.3)

## 2 コシヒカリの管理ポイント

### (1) 分施肥体系の穂肥

ア 幼穂の長さ等を参考に出穂期を予測し、穂肥を適期に施用しましょう。

イ 有機入り肥料の場合は「出穂期12~10日前」に、窒素成分で1kg/10aを目安に施用しましょう。

### (2) 全量基肥肥料(一発肥料)体系の追加施肥

出穂期10日前の葉色が著しく低下している場合(カラスケール3以下、SPAD値30以下)は、「出穂期10日前頃から5日前頃」に有機100%の肥料を15~20kg程度/10a(窒素成分で1kg/10a程度)施用しましょう。

### (3) 斑点米カメムシ類の防除

カメムシ類の多発情報(病害虫予察速報第7号:7月16日)が発表されていますので、草刈りや薬剤防除を徹底してください。